

石炭政策の長期安定を



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 ③3033番
③3034番
編集兼 渡田 紀生
発行人 年 600円 送料共

許せぬ閉山(住友)合理化

炭労、政府・資本の責任追及

すでに住友炭鉱業が奔別・歌志内の両鉱を閉山し、今後赤平鉱に経営を集中するといふ合理化計画を明らかにしたことは知られているが、これに対して炭労は、三十人の死亡(歌志内鉱)さえ出したほど非情な再建協定に調印した矢先のことと、余りのこの暴挙に関する資本・政府の重大責任を追及すると同時に、いそぎ石炭産業の長期安定を可能にする新たな石炭政策の確立を求め、炭労の全組織をあげて闘うことになった。

炭労の基本方針

去る二十日、住友炭から奔別・歌志内二山の閉山提案をうけた炭労は、たゞは「非常事態宣言」(別項参照)を発すると同時に、二十七日から北海道札幌に緊急中央委員会を招集、当面した重大な情勢に対処して闘うための意志統一を行なったが、その基本方針は次の通りである。

- 一、政府・資本の責任追及と、閉山合理化を阻止し、第五次石炭政策の確立をめざす。
- 二、住友二山の閉山反対闘争を、
- 三、住友炭に働く労働者の気合して推進する。
- 四、炭労全体の石炭政策闘争と結合して推進する。

燃えあがった怒り

虫ケラ扱いは許さぬ、と

こんど住友炭が炭労に出してきた閉山提案の内容は、大まかに述べれば次の通りである。



三川鉱正門前の抗議集会に、疲れた体をムチ打って組合員は参加した。

九・二八で抗議集会

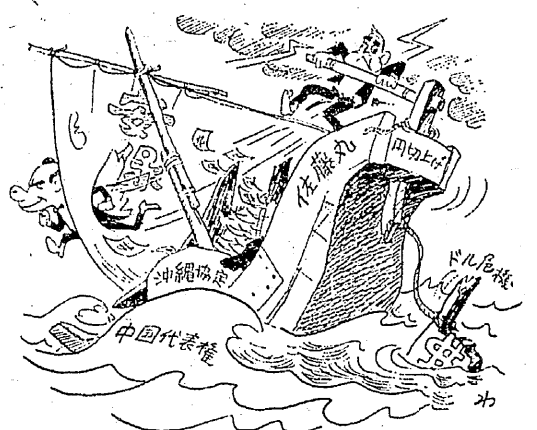
命を守る闘いを誓う

七名の死亡、三百名ものCO中毒を出した四十二年九月二十八日の三川鉱坑内火災事故から、早くも四年を迎えた三川鉱正門前で、午後五時三十分から九・二八抗議集会がもたれた。

中央倉庫の移転申入れ

背景に、新工業用地造成が

資材部中央倉庫を三川鉱内に移転したい、との申し入れがきり、さらには五万トンの船が出入りできる新三池港計画と、新港町地元の百二十万坪におよぶ埋立地造成による工業用地の一環として、中央倉庫の跡地を利用することであり、新三池港計画の中には新港町住宅の移転も含まれていることさえうわさされていることから、全三池の問題として対処しなければならぬものである。



沈没寸前の佐藤丸

小指の痛みは 全身の痛み (2)

港務 若松 沢清

私は暗然とした。民衆は暗く重くきびしい明け暮れで笑ひかへていたというところで、済まされるものではない。それは集団による示威行動の中で、相手にたたきつけられる「ドン」姓の朝鮮野郎ノチャッコノノという侮べつと差別を含んだ言葉に通じているし(そんな言葉が階級の言葉であるはずがない)また人の痛さは三年でも辛抱する。